

# 刊行に寄せて



文部科学大臣

萩生田 光一

我が国において新型コロナウイルス感染症の最初の感染者が確認されてから約半年が経過しました。この新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々とその御遺族に深く哀悼の意を表しますとともに、現在も罹患されている方々に心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止のために、社会及び経済活動上の様々な制約の中で生活を続けられている皆様方に対し心よりお見舞い申し上げます。政府としても引き続き一体となって新型コロナウイルス感染症への対応、とりわけ子供の「学びの保障」に全力で取り組んでまいります。

令和元年度文部科学白書の巻頭では、「大学入試改革の現状について」を取り上げています。令和2年度から始まる「大学入学共通テスト」や、一連の経緯も踏まえて私の下に設置した「大学入試のあり方に関する検討会議」の審議状況などについて紹介しています。

さらに、特集として、「教育の情報化～GIGAスクール構想の実現に向けて～」と「ラグビーワールドカップ2019日本大会の軌跡とレガシー」の二つのテーマを取り上げました。

Society5.0時代を生きる子供たちにとって、教育においてもICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。特集1「教育の情報化～GIGAスクール構想の実現に向けて～」では、令和元年度補正予算事業「GIGAスクール構想の実現」において、教育の情報化の基盤として進めている学校ICT環境整備にフォーカスし、これまでの動向やその概要、さらに新型コロナウイルス感染症を受けた令和2年度補正予算事業の概要、今後の展望について紹介しています。

令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催され、我が国は世界中から大きな注目を集めました。特集2「ラグビーワールドカップ2019日本大会の軌跡とレガシー」では、大会の概要や結果、文部科学省としての機運醸成の取組や地方自治体の取組等を紹介するとともに、アジア初のベスト8進出を果たした日本代表の活躍を振り返ります。

政府では、人生百年時代や「Society5.0」の到来を見据えた経済社会を大胆に構想する中で、「一億総活躍」の旗を更に高く掲げ、日本を誰にでもチャンスがあふれる国へと変えていくため、「人づくり革命」を断行し、「生産性革命」を実現することを最大の使命としています。文部科学省が担う教育再生、科学技術イノベーション、スポーツ、文化の振興は、「人づくり革命」や「生産性革命」において中核を担うものです。「令和」という新しい時代を迎え、改めて、国家百年の計に立って、施策の推進に全力を尽くしてまいります。

文部科学行政の推進のためには、国民の皆様の御理解と御協力が不可欠です。本白書が幅広く活用され、皆様の理解を深めていただく一助となれば幸いです。